いじめ相談窓口の相談方法

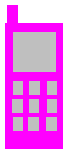
資料⑥

市長部局　いじめ相談窓口の現状

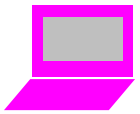
令和５年４月　いじめを市全体の問題とし、市長部局でいじめ防止対策を開始

７月　人権政策課に **いじめ相談窓口** を開設

相談方法

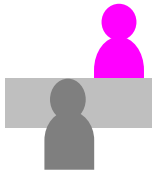


いじめ専用電話

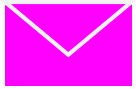


メール

令和５年９月以降、学期ごとに全児童・生徒へ配付



面談



お手紙

※　いじめ相談員・弁護士等が協議し、対応

○ 教育委員会や学校と連携。
○ 相談者等に寄り添った相談対応を行う。
○ 児童・生徒・保護者への啓発、効果的な防止対策の検討を進める。

いじめ相談窓口相談件数

○令和６年度　相談件数

延べ１１０件（相談者数７４人）

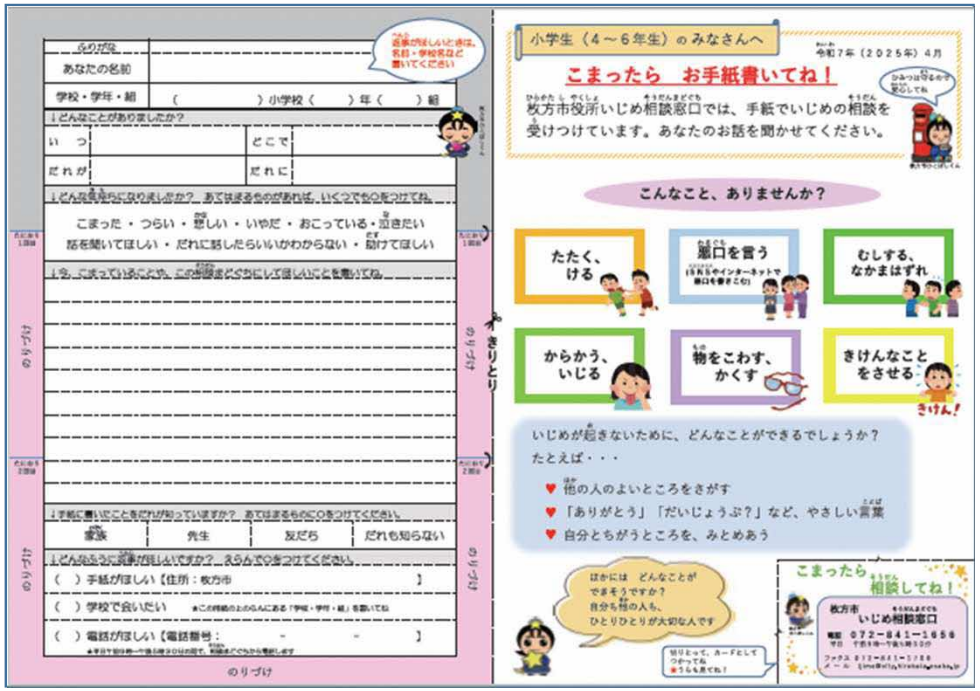
相談方法	件数	内、相談者	内、件数
電　話	２２件	児童生徒	６件（小４件、中１件、他１件）
		保護者等	１６件（小７件、中８件、他１件）
面　談	１５件	児童生徒	１２件（小１１件、中１件）
		保護者等	３件（小１件、中２件）
メール	５件	児童生徒	１件（小１件）
		保護者等	４件（小１件、他３件）
手　紙	６８件	児童生徒	６７件（小６２件、中５件）
		保護者等	１件（小１件、中０件）
計	**１１０件**		

いじめ手紙相談用紙

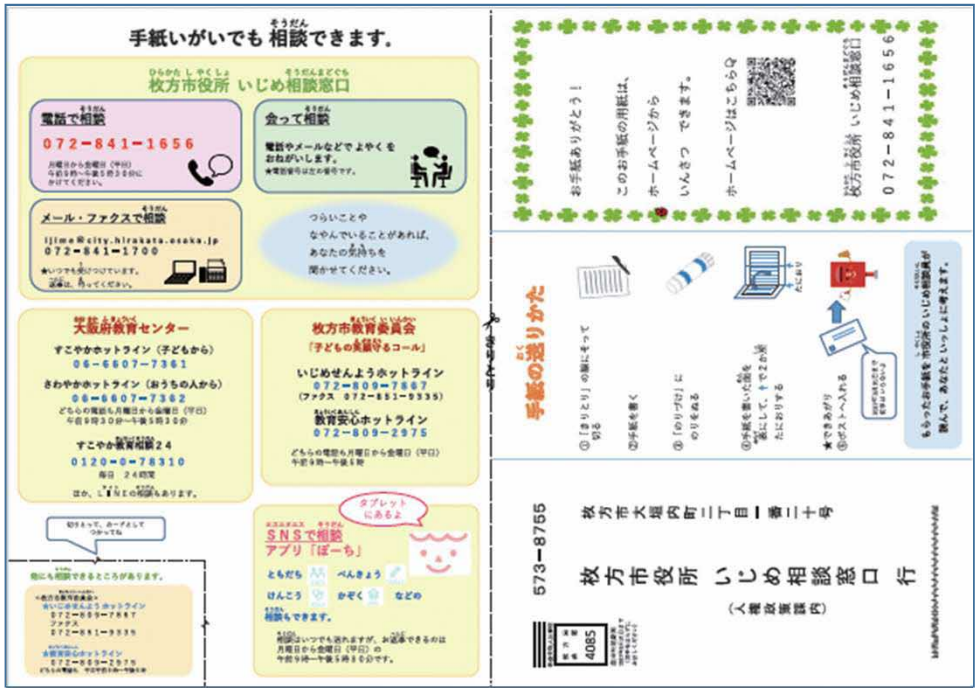
手紙相談用紙（Ａ３サイズ中厚紙）

全児童生徒へ、学期のはじめに配付
（小学生低学年向け、高学年向け、中学生向けの３種類を作成）
※保護者向けの相談窓口周知文は年度のはじめに配付

＜表面＞



＜裏面＞



いじめ相談窓口の周知、いじめ未然防止の取り組み

相談窓口ポスター

公共施設等へ配架

懸垂幕

９月いじめ未然防止啓発月間で掲示